

フェンタニル：がん性疼痛に使用する場合

商品名	フェンタニル注射液 0.1mg/2mL/A(100 μ g/2mL/A)
一般名	フェンタニルクエン酸塩

- * 希釈方法は「**濃度を基準**に希釈/投与する方法」と「**1日量を基準**に希釈する方法」がある。状況に応じ、使用しやすい方法で希釈する。以下に希釈方法例を示す。
- * 投与量・水分負荷・皮下投与等に応じ、適切な希釈方法を選択する。
- * 皮下投与の場合、一般的に1mL/hr以下で投与する。
- * 当院の汎用シリンジポンプは小数点以下一位まで設定可能。10mLシリンジ装着可能。

補足) モルヒネ注30mg $\equiv$ オキシコドン注30mg $\equiv$ フェンタニル注0.6mg(600 μ g)

●濃度を基準に希釈/投与する方法（例：4倍希釈、原液）

《12.5 μ g/mL》 【4倍希釈】														
6A＋生食36mL⇒48mL														
投与速度 [mL/hr]	0.2	0.3	0.4	0.5	0.7	1	1.5	2	2.5	3	4	5	6	
1日投与量 [μ g/day]	60	90	120	150	210	300	450	600	750	900	1200	1500	1800	

《50 μ g/mL》 【原液】														
投与速度 [mL/hr]	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.7	1	1.3	1.5	2				
1日投与量 [μ g/day]	120	240	360	480	600	840	1200	1560	1800	2400				

●1日量を基準に希釈する方法（例：200 μ g/day、600 μ g/day）

200 μ g/day	2A(0.1mg/2mL/A)＋生食8mL⇒12mL（投与速度：0.5mL/hr）
	2A(0.1mg/2mL/A)＋生食20mL⇒24mL（投与速度：1mL/hr）
600 μ g/day	6A(0.1mg/2mL/A)＋生食12mL⇒24mL（投与速度：1mL/hr）